

平成16年度 福岡空港調査連絡調整会議幹事会（第2回）
（議事概要）

1 日 時 平成16年9月15日（水）14：00～15：50

2 場 所 福岡国際会議場5階 502会議室
福岡市博多区石城町2-1

3 出席者

(1) 幹事

国土交通省九州地方整備局港湾空港部長	東 俊夫
国土交通省大阪航空局飛行場部長	松本 清次
福岡県企画振興部理事兼空港対策局長	西村 典明
福岡市総務企画局理事	中島 紹男

(2) 本省航空局からの参加

国土交通省航空局飛行場部計画課空港計画企画官 八鍬 隆

4 議事

(1) 開会

(2) 議事

議題1 福岡空港調査PI有識者委員会（仮称）の設置について

「福岡空港調査PI有識者委員会（仮称）の設置について」及び「福岡空港調査PI有識者委員会の選定方法（案）」について、西村理事より資料の説明がなされた。幹事より質疑がなされ、一部字句の修正を行ったうえで、提案内容が了承された。

議題2 福岡空港調査PI実施計画について

西村理事より、福岡空港調査PIの実施計画について、名称、概要、御意見の反映および作成のスケジュールについて説明された。また、同実施計画の作成に当たって、アンケート等により、利用者等の意見把握を行うことなどが提案された。幹事より質疑がなされ、提案に沿って進めることが了承された。

5 主な意見

【質疑応答】

議題1 福岡空港調査PI有識者委員会（仮称）の設置について

幹事

PIに関する有識者委員の選定分野の説明部分に関して、PIと空港計画だけが学識経験者となって、法制度、マスコミ、事業経営は有識者と区別されているが、いずれも「有識者」にしておいた方がいいのではないか。

幹事

修正する。

幹事

有識者委員会の委員を幹事会で決定するのか。それとも連絡調整会議で決定するのかどちらで考えればいいのか。

幹事

この考え方の整理でよしいということであれば、これに基づいて委員の先生方をこれから選定し、連絡調整会議あるいは幹事会でまとめていくということになる。

また、P I実施計画の方の整理も連絡調整会議でご議論いただいて、まとめたいと考えているので、タイミングが合えば、一緒に審議してもらいたい。

幹事

この有識者委員会のメンバーの選び方について、「中立的、客観的な立場」という言葉が、基本的な事項としてある。そうだとすると、たとえば県・市でお持ちの福岡空港調査委員会の委員とのだぶりが無いような形で選ぶという考え方でよいか。

幹事

そのように考えている。

幹事

「特定の行政機関、利害関係者、利害団体の意見を代表していないこと」ということをどうやって確認するのか。「属していない」ということなら確実だが。

幹事

個別にみると、P Iに関する有識者と空港計画に関する有識者は基本的には、学識経験のある先生方という客観的な立場の方を考えている。法制度、マスコミ、事業・経営の3つの分野については、基本的に地元で活動されていることを考えているので、地元の、ここに弁護士会とか協会等の推薦をいただくということを考えている。そういう客観的な立場での協会からの推薦をいただくというのが、特定の利害を代表していないことの具体的な方策だと理解している。

幹事

有識者委員会の事務局は連絡調整会議事務局と別に設置すると書いているが、現段階でどこに設置しようと考えているのか教えていただきたい。

また、P Iに関してどういうスケジュールを考えておられるのか。有識者委員会についてほしいいつ頃までに委員を決めて、いつ頃立ち上げるのか。

幹事

事務局は、これは連絡調整会議の事務局とは別に考えており、福岡市さんの方をお願いしようと考えている。

幹事

具体的にこの枠組みが今日決まれば、客観的に中立・公正な立場で監視していただくという性格上、連絡調整会議とは分けてやる必要があるのではないかと考えている。そうすると、県、市、物理的にマンパワーの関係で、お互いに事務局機能の一部を双方で担うという意味では、この事務局を市の方でというつもりで進めていきたいと思っている。

幹事

PIの有識者委員会の所掌事務として、実施計画の審議、評価、助言等書いてあり、現段階での所掌事務としてはいいと思うが、実際にやるとなると、もう少し具体的に、例えば、評価といってもどういう観点で評価するかとか、少し踏み込んだところまで、委員の先生に認識を持っていただかないとうまくいかないのではないかなと思う。今後、そういうことについてどういうふうに考えていくのか、考えがあれば、教えていただきたい。

幹事

今回は基本的な考え方を出している。これが具体的にどういう基準でもってとか、どういう考え方もって評価なり助言をしていくかということについては、詳しく委員会を立ち上げるときに決めていかなければならないと思っている。

幹事

今のようなお話に関し、有識者委員会はあくまで第三者委員会であって、我々今ここに集まっている人間は連絡調整会議。連絡調整会議はある意味で第三者委員会から監視される、あるいは指導を受ける立場だから、我々がこういうことをやって下さいというのはおかしいのであって、むしろ第三者委員会の方で主体的にこういう切り口から監視するから資料をよこせとか、言っていただくのが筋ではないかなと思う。

幹事

評価の基準などの詳細は、第三者委員会で議論していただくという考え方と理解。

議題2「福岡空港調査PI実施計画について」

幹事

PIの実実施計画は、第1ステップから第4ステップの4つのステップで段階的にやっていくということだから、このPIの実実施計画というのはそれぞれのステップ毎に作ることになるのだね。

それを前提に、今回はあくまでも第1ステップのPI実施計画ということで理解してよるしいのか。

幹事

そのとおり。

幹事

2月ごろに第三者機関の評価を経て確定となっているため、まず、実施計画素案を取りまとめないといけない。そのためにアンケートや素案についての意見募集をしましょうという話だ。それを経て、第三者機関に対し、ここまでやりましたからこれがよろしいでしょうというのが、時間の関係でこうならざるを得なかったのか。

直感的にいうと、素案というのは速やかに作ってしまって、こういう素案に対し、有識者委員会でアンケートをこなさいといった指導が入って成案に向けて作業が進むかという気もする。今回は、先取りしてアンケートを実施するという事なので、先取りで悪いことではないのだろうが、有識者委員会の位置づけからして本当にこの順番で良いのかと感じた。

幹事

素案を作る段階で、基本的に1つはきわめて丁寧に作業としてやっている。素案を作る段階でもどういう形で情報を得たいかとか、どういう形で意見を言いたいかというニーズがベースとしてあるため、そのような、基本的な部分を丁寧にきちんとした形で収集してみようということでアンケートを始める。

幹事

いずれ実施する必要があることならば、早めにやって成果を出そうということか。

幹事

もちろん、すべての情報がアンケートによって得られるわけではない。基本的な考え方に基づいて作って、補強しながら作って行って、それを再度、全体的な形に素案という形でまとめてホームページ等で意見収集するという二重のチェックをかければ十分かと思っている。

幹事

先ほどのご発言に関して、確認する必要を感じた点がある。

第三者機関というのはあくまでも監視する機関である。ところがさきのご意見のように第三者機関に事前、事前に相談をしていくと、今度はPI実施主体であるところの連絡調整会議の一部に取り込んでしまうようなことになる。

したがって、例えば第三者機関、有識者委員会の委員になられる先生方のご指導を、まずいただいて、PIの実施段階でどこまで先生方が参加されるのか、あるいは第三者として引いておくほうがいいのか。いずれがよいのか確認しておく必要がある。

幹事

資料1に、有識者委員会（第三者機関）は、PI実施計画に関する審議、評価、助言と

あるから、実施計画策定に向けた助言と言ってみればそう取れる。

幹事

ただ、最初の段階から連絡調整会議がやろうとするP I実施計画にあまり深く関与すると、後ほど市民、県民からやり方そのものがおかしいという指摘があったときに、第三者として裁くことができなくなってくるのではないか。やはり、最終的に疑問があったときには、第三者として裁くというのが一番の有識者委員会の責務ではないかと考える。

幹事

P Iの第1ステップの実施計画の策定にあたって最初にアンケート調査をやることになっているが、第2、第3ステップでもアンケートをやるのか。第2ステップ、第3ステップでは基本的にアンケートはやらず、その分も含めて最初にやるという考え方でよろしいのか。

幹事

基本的にはそういうふうに考えている。今回広くいろんな人に意見を聞けば、情報の提供なり収集なりの基本的な全体の考えが出てくるかなと思っており、それが第1、第2、第3、第4ステップで共通してくる。第2、第3、第4ステップに特別な事案が含まれて、まったくベースとなるものに付加的に聞いてみないと素案自体ができないということであれば、また考えたいと思う。

幹事

第4ステップくらいになると少しトーンが違ってくるかもしれない。

幹事

アンケートそのものがP Iになるのかもしれない。

幹事

6ページのアンケート票の中のQ5で、「どのような方法で情報を入手したいと思いますか」という問いがあり、その中にメール配信という選択肢が入っている。メール配信は非常にいいと思うが、実際にメール配信するという事は可能か。

事務局

検討したい。

幹事

小泉首相のメールマガジンのようにメールを配信することが可能であれば、やる方向で検討したらいいのではないかと個人的には思っている。

幹事

全体のスケジュールに関して、実施計画のご審議は有識者委員会、確定2月頃ということで年明けにチェックしていただくということになるので、有識者委員会自体の立ち上げについては、今日ご了解いただき、これからメンバーを選定していくことになると、10月中くらいに選定作業が終わって、11月中位に有識者委員会自体が立ち上がるのがいいのではないかと考えている。

幹事

したがって、11月中には連絡調整会議を開催するのか。

幹事

実施計画の素案自体もそのタイミングで、まとめたいと思っている。